

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

不登校児童生徒支援（D X活用等）事業

事業の経過・背景・課題

不登校児童生徒及び教室以外の場所に登校している児童生徒については、年々増加傾向にあり、早期発見・未然防止を図るため、スクールカウンセラーによる相談対応や教育支援センター等関係機関と連携するなど、各学校において丁寧に対応しているところ。教室以外の別室運営については、授業の空いている教員が対応するなど、日によって対応者が異なるため、コミュニケーションが苦手な児童生徒にとっては心理的負担が大きい。

取組内容

交付実績額： 8,838 千円

〔学校内の居場所づくり〕

- ・不登校支援員を8校に配置し、新設した「校内教育支援センター」に通う不登校児童生徒の支援を行った。
- ・1日の取組や学習内容、時間割を生徒自身が主体的に決定したり、支援員等との関わりを通して、小さな成功体験を積み重ねて「自己肯定感」や「自己有用感」を育む。

〔心と体の健康観察アプリ試行導入〕

- ・1人1台端末を活用した「心と体の健康観察アプリ」を市内全中学校4校、市内半数にあたる小学校5校に試行導入（いずれも無償）
- ・毎朝児童生徒が自分の状態を記録し、自身の好不調の傾向を確認
- ・早期対応すべき児童生徒の情報を学校内でのチーム支援に活用

▶ 「心と体の健康観察アプリ」

※児童生徒が心の状態を入力する画面



事業の成果・今後の展望等

- ・「不登校支援員の配置」については、「決められた曜日、時間に不登校支援員を配置することができ、不登校の子どもが学校に通いやすくなった。」「表情が明るくなった」「コミュニケーションが増えた」等の成果がみられた。
- ・「心と体の健康観察アプリ試行導入」については、「心の状態が良くないと回答した生徒に声掛けをして悩みを聞き出すことができた」「いじめリスクアンケート（児童生徒理解アセスメント）により、個々の生徒の状況がよりわかるようになり、適切な支援につながった」等の成果がみられた。
- ・引き続き不登校児童生徒等の教育機会を確保し、社会的自立を目指した支援策の更なる拡充、個に応じた支援をより一層推進するとともに、心と体の健康観察アプリについては、令和7年度からは市内全小中学校の正式導入（有償）する。

問い合わせ先

長岡京市教育委員会教育支援センター（075-963-5516）